

2022/09/20

# リトルハウス通信

今回のリトルハウス通信では、月1回、月曜日の午後に行われている「おかしクラブ」をご紹介したいと思います。

利用者の皆さんから食べたいおかしや作りたいおかしを募ったり、今まで作ったことがないおかしを職員が提案したりしながら、その月で作るものを決め、おかしクラブ参加者がおかしやスイーツを作り、帰りのミーティングで食べるという行事のことです。

今までおかしクラブで作ったものは多岐に渡ります。ティラミス、紅茶のシフォンケーキ、白玉ぜんざい、チーズケーキ、蒸しパン、アップルパイ、葛切り、梅ゼリー、わらびもち等々、たくさんの種類を作りました。その中には大成功したものや、要改善…、が必要だったもの等々、さまざまなケースがありましたが、おかしクラブのメンバーが、作ったおかしをみんなに振舞い、それをみんなで一緒に食べるという点において、とてもよい習慣になっていると思います（今はコロナ渦ということもあり、食べながらみんなで感想を言い合う、ということとは残念ながらできずにいます。本当はその場で美味しいという言葉が発せられるとよいのですが…）。

更におかしクラブの良い点は、普段なかなか作業に参加できずにいる利用者の方でも「おかし作りになら参加したい」と声を上げてくれ、おかし作りの場が、メンバーや職員とのコミュニケーションの場になっているところだと思います。リトルハウスでの日中活動で普段行われている「作業の場」になかなか入れない利用者の方でも、まずはおかしクラブという「場」でコミュニケーションを体感してもらい、そこから徐々に次のステップ進んでもらえたらと私たちは考えています。

そして今回チャレンジしたものはプリンです。長い歴史のあるおかしクラブですが、意外にも初めてつくったのでした。

カラメルソースからすべて手作り！味については今までのおかしクラブでつくった中でも1、2を争うぐらいの美味しさだったと思います。時間の関係でプリンがすべて固まり、冷え切るところまではいかなかったのですが…。味においてはかなりのレベルまで達していたのではないのでしょうか。

それではお菓子クラブの様子を少し写真でご紹介したいと思います。（鈴木）

